

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて 調査結果から見た本校児童の様子

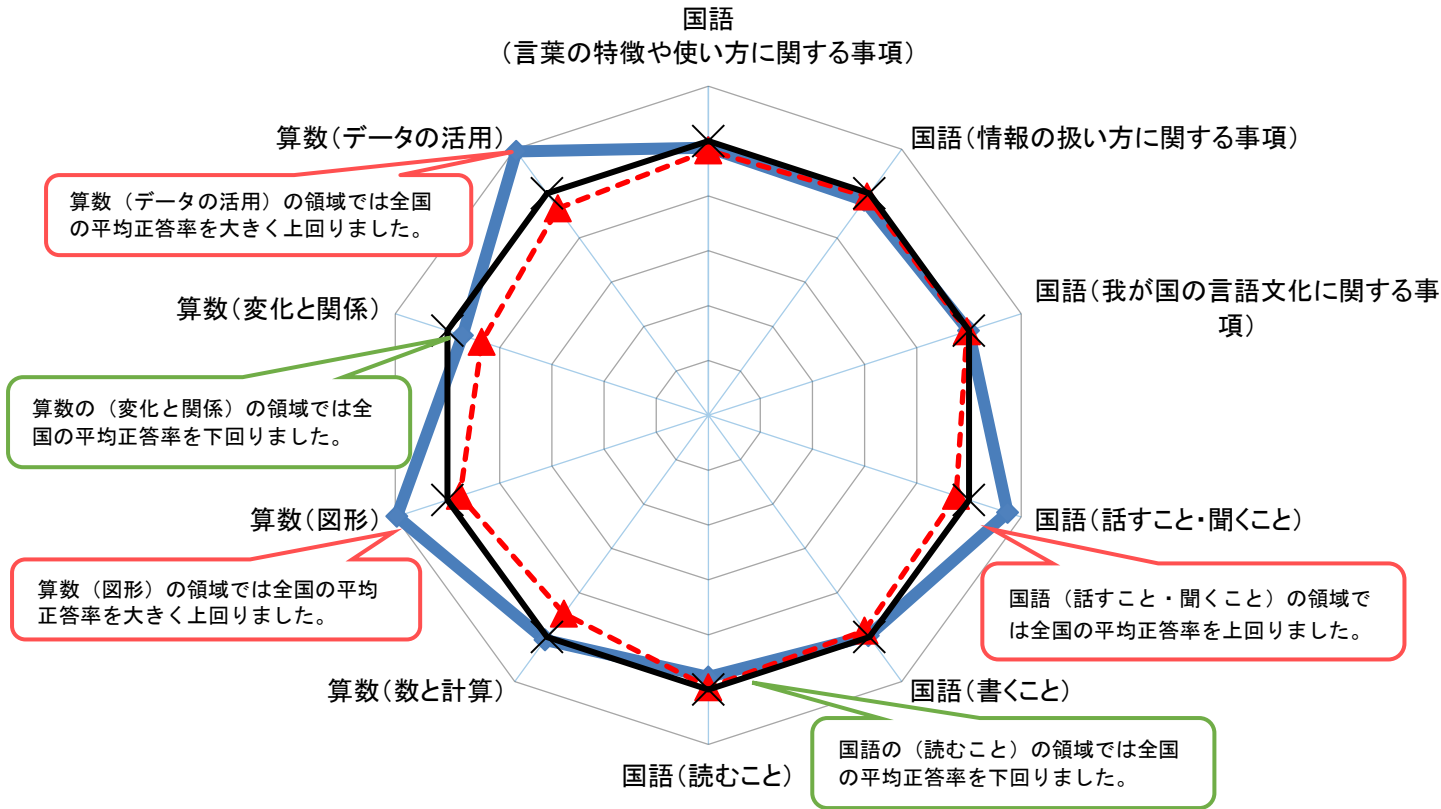


学力について

—●— 帯広市立啓北小学校

-▲- 北海道(公立)

—×— 全国(公立)



【国語】

◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する」設問
- ・「【メモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する」設問。

▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する」設問。

□無解答率の高かった問題

- ・「物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く」設問。
- ・「漢字を文の中で正しく使う」設問

☆今後に向けて

- 物語の読み取りでは、「何がかかっているか」ではなく、「どのようにかかっているか」という表現面に着目して、物語全体を読む力を高めていきます。
- 話し合いの場では、互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるようにしていきます。

【算数】

◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「折れ線グラフから、回数の違いが最も大きい年代を読み取り、月による回数の違いを書く」設問。
- ・「五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く」設問。

▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く」設問。

□無解答率の高かった問題

- ・「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する」設問。

☆今後に向けて

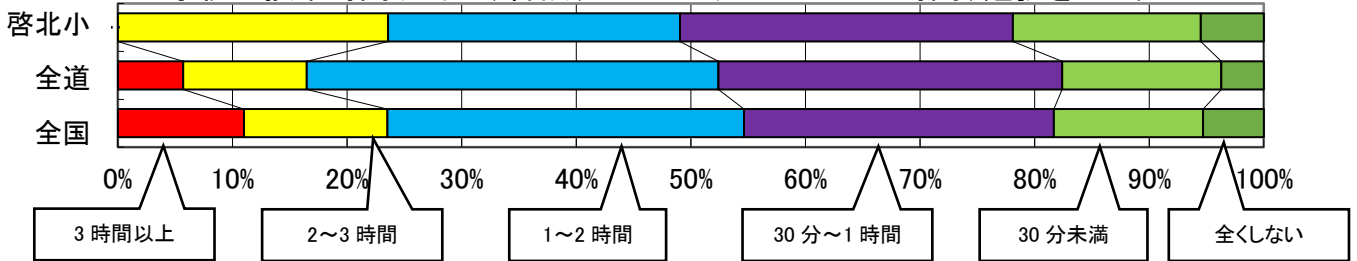
- 「どのように求めたのかがわかるように」「求め方を式や数、言葉」を使って説明することができるようにしていきます。
- 日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにしていきます。
- 整数や小数の四則計算、図形の面積や体積、速さを正しく求めることができるようにしていきます。

学習状況について(児童質問紙より)

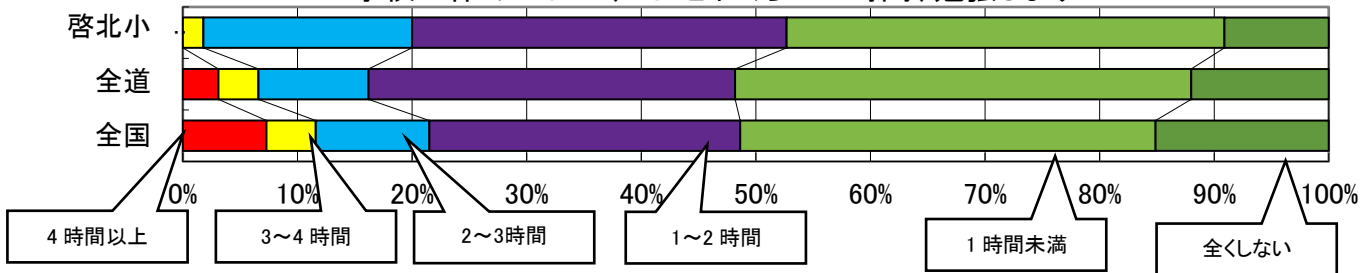


- 学習意欲は高く、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という質問では、全国平均より「できている」と答えた児童が多いです。
- 「新聞を読んでいるか」という質問では、全国平均より「ほぼ毎日」「週に1～3回程度」と答えた児童が多いです。
- 学校の授業以外の普段の学習時間が短い傾向にありました。家庭学習を全くしていない児童や30分未満の児童の割合が高いです。

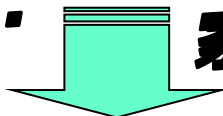
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか



そこで
学校では…



家庭では…



①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に 向けて取り組みます

- タブレットを活用した補充的・発展的な学習
- TTや習熟度別・少人数指導など複数の教師による個に応じた指導
- 「子ども」が主語になる授業づくり
- ②9年間を見通した系統性のある指導を行います
 - 次の学年、中学校進学を見通した系統性のある指導
 - 一中エリアにおける連続性・系統性のある教育の充実（出前授業）
- ③学習規律・学習習慣の定着に向けて取り組みます
 - 「学習のきまり」の徹底やレジリエンス教育を通じて、安心して学習できる環境づくり
 - 宿題の提示や、家庭学習への取組推奨と評価（児童への励まし）

①机に向かう時間を確保しましょう

- 目標は「10分間×学年+10分間」
- 時間帯を決めて毎日継続（定着するまでは、保護者からの言葉掛けを）
- ②メディア利用のルール作り（時間を決める）をしましょう
 - テレビ、ゲームやネット利用の時間を減らし、家庭学習や読書の時間に（ストップ・ザ・見放題、家読の取組）
- ③心が触れ合う時間を確保しましょう
 - 将来を思い描き、学習の意義を感じながら意欲をもって学習に取り組む姿勢の育成
 - 子どもの頑張りを褒め、良い所を認める

これからも学校と家庭が連携し、子どもの学力向上を目指しましょう！